

○北杜市すたま自然健康村施設条例

平成 17 年 10 月 7 日

条例第 56 号

北杜市すたま自然健康村施設条例（平成 16 年北杜市条例第 154 号）の全部を改正する。

（設置）

第 1 条 本市の恵まれた自然を生かし、都市と農山村地域の交流を促進し、住民の健康増進を図るとともに、青少年の育成に寄与するため、北杜市すたま自然健康村（以下「自然健康村」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第 2 条 自然健康村の名称及び位置は、次のとおりとする。

名称	位置
みずがき山リーゼンヒュッテ	北杜市須玉町比志6498番地の1
ふるさと交流施設すたま自然健康村 増富の湯	北杜市須玉町比志6438番地
みずがき山グリーンロッジ	北杜市須玉町小尾8861番地

（管理）

第 3 条 自然健康村の管理は、市長が行う。

（職員）

第 4 条 自然健康村に必要な職員を置くことができる。

（利用時間）

第 5 条 第 2 条に規定する施設のうち増富の湯の利用時間は、次のとおりとする。

- （1） 4 月から 11 月までの期間 午前 10 時から午後 8 時まで
- （2） 12 月から翌年 3 月までの期間 午前 10 時から午後 6 時まで

2 前項各号の規定にかかわらず、市長が必要があると認めるときは、これを変更することができる。

（休館日）

第 6 条 自然健康村の休館日は、次のとおりとする。

施設区分	休館日
------	-----

みずがき山リーゼンヒュッテ	1月1日から2月末日まで
ふるさと交流施設すたま自然健康村 増富の湯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週水曜日。ただし、その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その翌日とする。</li> <li>・年末年始（12月29日から翌年の1月3日まで）</li> </ul>
みずがき山グリーンロッジ	11月1日から翌年の4月30日まで

2 前項の規定にかかわらず、市長が必要があると認めるときは、これを変更することができる。

（利用の許可）

第7条 自然健康村を利用しようとする者は、あらかじめ市長の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも同様とする。

2 市長は、その利用が次の各号のいずれかに該当するときは、前項の許可を与えないことができる。

- （1） 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。
- （2） 自然健康村の施設又は設備を損傷するおそれがあると認められるとき。
- （3） 前2号に掲げるもののほか、自然健康村の管理上支障があると認められるとき。

（利用の制限）

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可した事項を変更し、又は許可を取り消し、若しくは利用の中止を命ずることができる。

- （1） 自然健康村を利用する者（以下「利用者」という。）が許可を受けた利用の目的に違反したとき。
- （2） 利用者がこの条例又はこの条例に基づく規則若しくは市長の指示した事項に違反したとき。
- （3） 利用者が許可の申請書に偽りの記載をし、又は不正の手段によって許可を受けたとき。
- （4） 天災地変その他の避けることができない理由により必要があると認められるとき。

(5) 公益上必要があると認められるとき。

(6) 前各号に掲げる場合のほか、自然健康村の管理上特に必要と認められるとき。

- 2 前項の規定により許可した事項を変更し、又は許可を取り消し、若しくは利用の中止を命じた場合において利用者に損害が生じても、市長はその賠償の責めを負わないものとする。ただし、前項第6号に該当する場合は、この限りでない。

(使用料)

第9条 利用者は、市長に自然健康村の利用に係る使用料（以下「使用料」という。）を納付しなければならない。

- 2 使用料の額は、別表のとおりとする。

(使用料の減免)

第10条 市長は、公益上必要があると認める場合は、使用料を減額し、又は免除することができる。

(使用料の不還付)

第11条 既納の使用料は、還付しない。ただし、利用者の責めに帰さない理由により利用することができないときは、この限りでない。

(指定管理者による管理)

第12条 自然健康村の管理は、第3条の規定にかかわらず、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により、法人その他の団体であって市長が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

- 2 前項の規定により自然健康村の管理を指定管理者に行わせる場合は、第5条及び第6条の規定にかかわらず、指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て営業時間、利用期間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

- 3 第1項の規定により自然健康村の管理を指定管理者に行わせる場合は、第7条及び第8条の規定中「市長」とあるのは「指定管理者」と読み替えるものとする。

(指定管理者の業務の範囲)

第13条 指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるものとする。

- (1) 自然健康村の利用の許可に関すること。
- (2) 自然健康村の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、自然健康村の運営に関して市長が必要と認める業務

(利用料金)

第14条 第12条第1項の規定により、自然健康村の管理を指定管理者に行わせる場合は、第9条第1項の規定にかかわらず、利用者は、指定管理者に自然健康村の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を支払わなければならない。

2 利用料金は、別表に掲げる額の範囲内で、指定管理者があらかじめ市長の承認を得て定めるものとする。この場合において、別表の規定中「使用料」とあるのは、「利用料金」と読み替えるものとする。

(利用料金の収入)

第15条 市長は、指定管理者に利用料金を当該指定管理者の収入として収受させるものとする。

(利用料金の減免)

第16条 指定管理者は、公益上必要があると認める場合は、あらかじめ、市長の承認を得て利用料金を減額し、又は免除することができる。

(利用料金の不還付)

第17条 既納の利用料金は、還付しない。ただし、利用者の責めに帰さない理由により利用することができないときは、この限りでない。

(損害賠償)

第18条 利用者は、故意又は過失により自然健康村の施設を汚染し、又は破損した場合は、市長が原状に復するに必要と認める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。

(委任)

第19条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成18年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 この条例の施行前に、この条例による改正前の北杜市すたま自然健康村施設条例の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例による改正後の北杜市すたま自然健康村施設条例の相当規定によりなされた処分、手続その他の行為とみなす。

附 則（平成23年7月1日条例第17号）

この条例は、公布の日から施行する。

附 則（平成26年3月10日条例第6号）

この条例は、平成26年4月1日から施行する。ただし、第2条、第4条、第6条、第8条、第10条、第12条、第14条、第16条、第18条及び第20条の規定は、平成26年10月1日から施行する。

附 則（平成31年3月27日条例第2号）

この条例は、令和元年10月1日から施行する。

附 則（令和元年7月3日条例第2号）

この条例は、公布の日から施行する。

別表（第9条関係）

区分	利用区分		使用料	摘要
みずがき山リーゼンヒュッテ	1泊1人		15,710円	
ふるさと交流施設 すたま自然健康村 増富の湯	市民	中学生以上	510円	
		小学生	210円	
		小学生未満	無料	
		フリーパス（1箇月）	7,330円	
		フリーパス（3箇月）	15,710円	
	市民以外 の者	中学生以上	680円	
		小学生	510円	
		小学生未満	無料	

		フリーパス（1箇月）	11,510円	
		フリーパス（3箇月）	27,240円	
みずがき山グリーンロッジ	1泊1人		2,100円	
	キャンプ場1区画		5,240円	

備考1：本施設の利用において、東京都羽村市民は、利用区分を市民とする。

備考2：温泉施設を利用するときは、使用料のほか、別途北杜市税条例（平成16年北杜市条例第63号）で定める入湯税を支払わなければならない。ただし、フリーパスについては、入湯税を含んでいるため、この限りでない。